

十勝うらほろ創生 キャンプ(TUS)だより vol. 28

広報担当：佐々木すみれ（地域おこし協力隊）、伊場遙（十勝うらほろ楽舎）

上浦幌中央小学校での 1年間の活動について

今年度より、学校教育活動のサポートのため、平日・週4日で上浦幌中央小学校に通っている、十勝うらほろ楽舎スタッフの続さんの活動報告を今回はご紹介します。

「現在、小学校では主に毎日の家庭学習と問題集の確認や、個人の苦手分野を補助するためのプリントの準備・確認などを行っています。4月当初は初めての教育現場ということもあり緊張感たっぷりでした。職員も皆さんのフォローもあり、子ども達が笑顔にさせてくれる現場で、現在はのびのびと活動ができています。」



上浦幌中央小学校は、1・2年生、3・4年生、5・6年生の複式学級です。人数が少ないと言えど、1人1人に違いがあることに変わりはありません。子ども達それぞれの性格や得意・不得意を把握して、プラスαの学びの提供、あるいは学びの補強ができるかが期待されていると考えています。その役割を果たせるようになるため、授業中だけでなく、休み時間にもコミュニケーションを取りに行ったり家庭学習を確認したりして子ども達の特性を観察し、毎日確認している問題集からそれぞれの得意分野と苦手分野を把握しています。



続 麻知子

浦幌町地域おこし協力隊
十勝うらほろ
創生キャンプ担当

さらに、3・4年生の担任の先生からの依頼を受け、また子ども達に関わっている諸先輩方からのアドバイスも得ながら、「まっちゃんプリント」という学校での学習の補助となり得るプリントを作成し、1人1人に配布しています。これは、3月末までに目標枚数のプリントを全て完了したら「進級免許証」が交付される仕組みにしました！誰が1番乗りで免許証を受け取ることになるのか、とても楽しみにしています！

今回は日々の上浦幌中央小学校での活動の一部をご紹介します。が、学習発表会の演者として参加するなど、学校行事にも関わらせていただいています。日々の子ども達とのコミュニケーションは刺激的で学ぶことも多いです。今後、どこかでそのこともお伝えできればと考えています！

料理家による
料理教室開催！

1月20日（金）に3回目となる「URAHOROMENズキッチン」を開催し、5名の参加者に「ブ」の肉の火入れ講座」を実施しました。

講師を務めたのは、昨年浦幌に移住した料理家の宮川順子さん。家庭でもすぐに真似できるレシピや調理方法を教わりました。

1回目は鹿肉、2回目は中華と魚をテーマに実施。美味しいご飯を食べつつ楽しく学べると好評で、リピーターも続出！普段料理をしない方や初めてお会いする方同士でも、和気あいあいと食材への理解を深めています。



また、季節の料理教室も開催しています。12月20日（火）には「クリスマス料理教室」をトコムクラブで実施し、幼稚園児から大人まで幅広い年代の20名が集まりました。将来料理人になりたいという夢を持つお子さんもいて、積極的に調理をしていました。今後とも老若男女を問わず、皆さんと料理を楽しめる場を作っていきます。お友達など5名以上のグループで個別に料理教室を開きたい方は、お気軽にご相談くださいね！

参加者の声



単に料理するだけでなく、料理は科学という言葉の通り、食材や調味料などの話も聞けて、ためになる授業でした。



料理をする人もしない人も楽しめるライブ感満載のレッスンでした。



食材ごとの特性を活かして組み合わせられていて、非常に勉強になりました。



一般社団法人十勝うらほろ楽舎 料理家 **宮川 順子**

2022年7月に東京から浦幌町に移住。一般社団法人日本味育協会代表理事として「おいしいにはワケがある！」をテーマに各種セミナー講師を務める他、執筆、商品開発、食による地域活性なども手掛ける。



講師紹介